

1 学校教育目標

・進んで学ぶ生徒 ・心豊かな生徒 ・たくましい生徒

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<p><伊興中のウェルビーイング> 「居場所がある、出番がある、誇りがある」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒は誇りを持ち、保護者は安心して託せる、地域とともに歩む学校 ○ 一人一人に「居場所」と「出番」があり、明日が楽しみになれる学校 ○ 自分らしさを発揮し、誰かの役に立つ喜びと実感できる学校
○児童・生徒像	<p><伊興中生とのウェルビーイング> 「自ら問い 共に挑み 深く学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 失敗を恐れず、何度も挑み続ける生徒 (挑戦) ○ 自ら問いを見つけ、たくましく学びを切り拓く生徒 (自律) ○ 違いと認め合い、豊かな心で支え合う生徒 (共生)
○教師像	<p><伊興中の教職員のウェルビーイング> 「教育のプロとして、生徒の成長を最高のやりがいとする教師集団」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 可能性を信じ抜き、情熱を持って導く教師 (愛情と成長) ○ 納得のいく授業で、生徒の未来を切り拓く教師 (授業と進路) ○ 現状に満足せず、自らを磨き続ける教師 (自己研鑽) ○ 個の専門性を結集し、協働し高め合う教師 (協働)

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

<学校の現状>

本校は通常学級16、特別支援学級3の計19学級、全校生徒約600名が在籍している。多くの生徒が明るく活気に満ち、日常的にあいさつやコミュニケーションが交わされるなど、教職員と生徒との間に温かい信頼関係が築かれている。部活動も盛んで、運動系10部・文科系6部が熱心に活動しており、都大会や全国大会への出場を通して成就感や自己肯定感の向上に繋がっている。行事面では運動会や合唱コンクールにおいて生徒会や実行委員が中心になる主体的な運営が行われている。また、特別支援学級と通常学級の交流も盛んで、多様性を認め合い、共に生活することが日常となっている。

一方で、学力定着の二極化が進んでおり、下位層の学習意欲の向上が喫緊の課題である。合わせて、近年の不登校生徒出現率の上昇も深刻にとらえている。今後は、各種調査結果の分析に基づき、エビデンスを重視した組織的な教育を邁進していく。

<前年度の成果と課題>

重点事項 1：学力向上

1. 成果

良好な学習環境：授業規律（95%）や積極性（85.2%）の肯定値が高く、落ち着いた学習環境と意欲が定着。

小中連携の深化：近隣小の指導者と連携した「中1夏季勉強合宿」を26名に実施。

学習サイクルの確立：AIドリル、確認テスト、補習を組み合わせた家庭学習習慣が定着。

2. 課題と解決の方向性

授業改善：1人1台端末を活用した「主体的・対話的で深い学び」の推進。

個別最適化：補充教室の指導形態を柔軟にし、下位層の「わからない」を解消。

小中連携：家庭学習の目標時間と内容を具体化し、習慣化を加速させる。

重点事項 2：豊かな心の育成と社会的自立心の確立

1. 成果

自己肯定感の向上：学校生活の充実（約92%）や行事への全力の取組（95.3%）により、高い自己肯定感を醸成。

部活動の活性化：加入率80%を維持。吹奏楽部の全国金賞など、多様な分野で顕著な実績。

情操教育：外部講師による特別授業を通じ、多角的な視点から豊かな心を育成。

2. 課題と解決の方向性

不登校支援の強化：特別委員会の再編とSSR（スモール・ステップ・ルーム）の整備により、支援体制を個別化。

社会参画の促進：ボランティア部を改編し、全校生徒が参加できる社会貢献機会を拡充。

生徒理解の深化：WEBQU分析と外部研修を通じ、学級経営の質を向上。

重点事項 3：教師の指導力向上と信頼される学校づくり

1. 成果

指導力の研鑽：計画的なICT活用授業や服務研修により、教員の資質と授業改善意識が向上。

地域連携の深化：「いこう彰風まつり」等の実施により、保護者・地域との一体感（肯定的回答73.2%）を構築。

2. 課題と解決の方向性

組織力の強化：校務分掌の精選と、教職員のニーズに応じた校内研修の計画的実施。

情報発信の拡充：HP刷新と連絡アプリの活用により、保護者への情報共有を迅速化。

協働活動の推進：土曜授業の形式改善や、保護者・「おやじの会」との協働ボランティアを推進。

4 重点的な取組事項						
	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
1	学力向上アクションプラン (主体的・対話的で深い学びを通じた学力の定着と区調査正答率・通過率の向上)	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成と社会的自立心の確立 (修学委員会の役割を明確とした不登校未然防止策による不登校生徒出現の抑制)	○	○	○	○	○
3	教師の指導力向上と生徒を中心に学校・保護者・地域が一体となった教育の推進 (生徒は誇りを持ち、保護者は安心して託せる、地域とともに歩む学校づくり)			○	○	○

5 令和8年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
生徒の学習意欲を高め、基礎基本を身につけさせ、学力向上を図る。		令和8年度区学力調査通過率 全学年55%以上				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	学びに向かう力の向上	全生徒 全教科	通年	・足立スタンダードの「虎の巻」やデジタルを基盤とした授業スタイル確立 ・授業診断アンケートによる進捗管理	・生徒アンケート ・教員アンケート	肯定的意見 90%以上	自己評価の際に記入		
2 継続・改善	具体的な取組を示した家庭学習の充実	全生徒 全教科	通年	・1年70分2年80分3年90分の学習の実施 (習い事も含める)	生徒アンケート	肯定的意見 80%以上			
		全教員 全教科	通年	・「10分定着」の課題を授業後に提示	教員アンケート	肯定的意見 80%			

3 新規	ICTの効果的な活用	全教員 全教科	通年	・教科別スプレッドシートを活用した振り返りの実施	教員アンケート	全教員の80%が活用	自己評価の際に記入
		全教員 総合的な学習の時間	通年	・デジタル基盤を効果的に活用した授業スタイルの確立	授業実践	年1回以上スライドによる成果発表	
		全教員 道徳科	通年	・デジタル基盤を効果的に活用した授業スタイルの確立	授業実践	週1回タブレット活用	
4 継続・改善	読書活動の充実 図書館の利用拡充	全生徒	通年	・各自の興味関心で読了数の目標を設定。 ・継続的な朝読書で集中力読解力の向上。	生徒アンケート	・個人目標の達成80%以上 ・肯定的意見80%以上	
		全教員	通年	・通年で1回以上図書館を活用した授業を実施	教員アンケート	・1回以上実施90%以上	

重点的な取組事項－2		豊かな心の育成と社会的自立心の確立							
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果		コメント・課題	達成度		
生徒自らが主体的に参画し、いじめのない笑顔あふれる学校づくり 不登校生徒の増加を抑制		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート 「伊興中生徒で良かった」90%以上 ・保護者アンケート 「安心して任せられる」80%以上 ・不登校生徒出現率 昨年より低下 		自己評価の際に記入					
B 目標実現に向けた取組み		具体的な方策						実施結果	コメント・課題
項目		達成基準		具体的な方策		実施結果	コメント・課題	達成度	
居心地のよい、安心感のある学年・学級集団の形成		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートにより肯定的意見が90%以上 ・WEBQUの結果を比較し2回目に改善 		<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動で自主的、実践的な集団活動を充実させよりよい人間関係を築く。 ・研修を通してWEBQUの具体的な活用から支援生徒の早期発見につなげる。 		自己評価の際に記入			

人間性と社会性を育む教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート肯定的意見 90%以上 ・ふれあい月間での生徒会による取組 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳において人間に関する内容を年間 3 回以上実施。 ・校長講話、学校だより等で人権に関する内容を年間 3 回以上実施。 外部講師による「生命の授業（性教育）」の実施 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>
	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級との交流活昨年度以上実施 ・生徒会活動年間 3 回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級との交流活動の充実。（給食、授業・生徒会活動） ・生徒会が主体的となってきまりやいじめ防止について活動 	

重点的な取組事項－ 3		教師の指導力向上と生徒を中心に学校・保護者・地域が一体となった教育の推進			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
校内組織を再構築し活性化させ、教師の指導力（学習指導、生活指導、）の向上を目指す研修を充実させる。		<ul style="list-style-type: none"> ・教員アンケート 90%以上 ・生徒アンケート 90%以上 ・保護者アンケート 80%以上 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
教員の学習指導力の向上	教員アンケート 取組実績 90%以上 生徒アンケート 肯定的意見 90%以上 保護者アンケート 肯定的意見 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が ICT を活用した授業を年間 2 回以上公開。 ・全教員が年 3 回以上授業を参観。 ・校内研修年 3 回実施 ・全教員が区内外研究授業を 5 回以上参加。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		

<p>教員の生活指導力の向上</p>	<p>教員アンケート 取組実績 90%以上 生徒アンケート 肯定的意見 90%以上 保護者アンケート 肯定的意見 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解に関する研修 1 回 ・食物アレルギー対応に関する研修 1 回 ・WEBQ Uに関する研修 1 回 ・安全指導に関する研修 1 回 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>
<p>教職員集団の育成と組織力の向上</p>	<p>教員アンケート 肯定的意見 90%以上 保護者アンケート 肯定的意見 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内分掌、特別員会を見直し、機能的な組織の構築。 ・教員一人一人の業務を明確にし、取組目標の設定。 ・ターゲットを明確にし、組織的なOJTの実施。 	
<p>保護者、開かれた学校づくり協議会、地域と共同した信頼される学校づくり</p>	<p>生徒アンケート 保護者アンケート 学校関係者アンケート 肯定的意見 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア部を再編成し、年間 5 回以上のボランティア実施。 ・いこう彰風祭りボランティア参加 100 名以上 	

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）